

第5章

取組の方向性



視点①
京の水をみらいへつなく

方針⑤

いどむ

新しい技術を取り入れながら、周辺地域や海外を含めた広い視野で、未来に向けた挑戦を続けます

1 取組の方向性と主な取組内容

取組① 常に発展し続けるための新技術の調査・研究

あらゆる業界や研究機関と連携し、ICT等の未来へつなげる技術の調査・研究を進め、その内容を積極的に発信します。

主な取組内容

- 浄水処理や下水処理、施設の運用、工事の施工管理、資源の有効活用等において、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）を含むICT（情報通信技術）等の様々な新技術について、調査・研究を進めます。
- 上下水道局が抱える様々な課題への対応、効率的な事業推進及び技術力の向上を目的として、民間企業や大学等の外部機関との共同研究を継続して実施します。
- 水道研究発表会及び下水道研究発表会等において、新技術に関する調査・研究成果のほか、実態調査や事例報告等について積極的に発信します。



下水道の水処理技術の調査研究



全国研究発表会

未来へつながる技術

**ICT（情報通信技術）
省エネルギー・低炭素技術
資源の有効活用技術
施設機能の維持・向上技術 等**

調査・研究



研究成果の発信

調査・研究の具体例

- ICTを利用した、効率的・効果的な水処理技術の調査・研究
- 下水汚泥を有効活用するための技術の調査・研究
- 水道スマートメーター等のIoT技術の調査・研究
- モバイル端末による事故・災害現場等との情報共有技術の調査・研究



